

東京芸術文化評議会 第7回江戸文化の魅力発信部会 議事概要

日 時	令和8年1月22日（木）～28日（水）
場 所	書面開催
出 席 者	委 員：青柳正規委員（部会長）、伊藤裕久委員、大石学委員、小粥祐子委員、近藤誠一委員、陣内秀信委員、千田嘉博委員、西村幸夫委員
欠 席 者	
議 題	1. 江戸文化の魅力の整理について
配布資料	東京芸術評議会運営要綱 東京芸術文化評議会 江戸文化の魅力発信部会 委員名簿 その他非公表
要 旨	<p>□ 議題1 「江戸文化の魅力の整理」について 事務局から江戸文化の魅力の整理について、資料により、主に次の内容を報告</p> <p>1 関係機関への照会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産のテーマは、誤解が生じないよう、焦点を絞ることが重要 ・対象資産は、顕著な普遍的価値を的確に説明する資産構成であることが重要 ・現在、暫定一覧表の掲載数が少なく、掲載には提案時点で、「世界文化遺産に推薦する資産を選定する基準」を満たすことが必要 ・世界遺産は対象を絞る必要があるため、江戸文化の認知向上には、世界遺産以外の方法も含めて検討すると良い <p>2 事務局の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回部会でいただいた御意見や関係機関への照会等をもとに、顕著な普遍的価値の整理を進め、その価値に合致する資産とストーリーを検討 ・江戸文化の価値を裏付ける古文書等の関係史料を体系的に整理 ・また、今後の資産選定を見据え、検討を支援いただく専門家の候補を調査 <p>委 員： 国等との関係機関とも早い時期から連携して取り組むことも検討すべきである 委 員： 江戸東京博物館の学芸員、資料をうまく活用すべきである 委 員： 江戸文化を広く発信するため、世界遺産に加え、別の方法を取り入れるのも効果的である 引き続き江戸文化の魅力の整理について取組を進める。</p>

以上